

No.	申請団体/個人	事業名	開催日・会場	事業内容	総経費	決定
1	荒尾市民楽団864(やろうよ)!	荒尾市民楽団864! 10周年記念定期演奏会	令和3年12月19日(日) 荒尾総合文化センター大ホール	第1部～アニバーサリーステージ～10周年を飾るにふさわしい曲、明るく楽しい曲を選曲。「セレモニアルマーチ」「サウンドオブミュージック」等。第2部～時の流れはTVと共に～1日のテレビ番組の流れを演奏し、小学生とのコラボレーションや打楽器体験も企画。「ラジオ体操」「平成ドラマコレクション」等。第3部～合同ステージ～荒尾市内の各中学校と合同演奏予定。「鬼滅の刃メドレー」「サンライズマーチ」等。	572,630	50,000
2	特定非営利活動法人 熊本県子ども劇場連絡会	熊本子ども劇場50周年記念事業 特別鑑賞会 前進座 創作歌舞伎「牛若丸」「歌舞伎の楽しさ」	令和3年12月5日(日) 熊本県立劇場演劇ホール	熊本に子ども劇場が生まれて50年。子どもたちの生きる力をはぐくむために文化活動を通じ、地域とつながりながら活動してきた。今回は、世界無形文化遺産としての日本の文化遺産の「歌舞伎」を親子で鑑賞し、後世に残していく必要性と文化芸術の発展を願い公演を行う。	2,520,000	200,000
3	ここから実行委員会	第4回 ここから ― 舞と踊りの伝統の世界 ―	令和3年10月15日(金) 熊本県立劇場演劇ホール	難解な古典物を前説として落語を、また時代に沿った異文化のコラボレーションで従来に日本舞踊の在り方を考え直す機会としたい。平成音楽大学の若い演奏家とタイアップし日本伝統文化を理解していただき共に高めあっていければ後進の育成もつながるのではないかと考える。	9,290,000	100,000
4	くまもと演タメ学園生徒会	くまもと演タメ学園生徒会 3学期公演 「低予算ヒーロー」	令和4年3月20日(日)～21日(月) 熊本市男女共同参画センターはあもにい メインホール	くまもと演タメ学園生徒会は「演劇をもっと、エンタメに」をスローガンに掲げ演劇公演やイベントなどのプロデュースを行っている。本作はくまもと演タメ学園生徒会の5度目の演劇公演である。新型コロナウイルスの影響で観客と劇場の距離が遠くなったこともあり、気軽に観ることができる今後も演劇を見たいと思えるような作品を上映する。	2,011,000	150,000
5	種田山頭火記念年事業実行委員会	種田山頭火記念事業 特別講演と創作劇「きょうも隣に山頭火」	令和3年10月2日(土) 市民会館シアーズホーム夢ホール大ホール	来年の山頭火生誕140年の記念年に向け、五木寛之氏による特別講演会と創作劇を公演。山頭火の業績を顕彰すると共に、「熊本の山頭火」を県内外に広く発信したい。来年度には、「山頭火展」やシンポジウム、俳句大会、文学散歩など多彩な行事が展開されるよう、県内の文化施設、文化団体にも働きかけていきたいという企画。	7,140,000	250,000
6	「文化講演会／宇城」	「文化講演会／宇城」 第3回講演会	令和4年3月6日(日) ウイングまつばせ(文化ホール)	我が国を代表する各界一流の講師を招き、宇城市及び周辺地域の住民を対象にした、恒久の文化講演会を開催。第3回の今回は、宇宙飛行士の毛利衛さんを招き、演題「宇宙からの贈り物～我々は何故挑戦し続けるのか(仮題)」として講演いただく。	1,310,000	100,000
7	エビハラがいた時代展実行委員会	海老原美術研究所設立70周年記念 エビハラがいた時代	令和4年2月25日(金)～3月30日(水) 熊本県立美術館本館第1展示室	海老原美術研究所設立70周年を記念して開催する、画家・海老原喜之助の戦後熊本における活動の軌跡をたどる展覧会。本展では、彼が戦後熊本で果たした役割を来館者に十分な形でご理解頂くべく、重要な作品は可能な限り借用し、展覧に供したい。作品は、関東、東海、中国地方のほか、北陸からも借用予定。また、「エビハラがいた時代」の記憶を郷土に伝え、残すことができるよう、展覧会図録の作成・刊行を予定。	16,219,915	300,000
8	BEATING	災害復興支援LIVE CROSSOVER & BEATADULT	令和3年11月13日(土) 八代市鏡町文化センター	熊本地震、熊本南部豪雨、東日本大震災に対する復興支援LIVE。熊本県公立高PTA連合会にてH29年に結成されたBANDメンバーが中心となり、コロナ禍で希薄となっている未だ復興途中の地域にて人を集め、支援を呼びかけ、かつ、義援金を応募し、対象地域に募金する。	920,000	100,000
				(計)	39,983,545	1,250,000